

令和5年12月12日
全日本畳事業協同組合
事務局

第92回京都畳技術競技会・関西ブロック会議

去る11月15日、京都府総合見本市会館に於きまして、第92回京都畳技術競技会が行われました。



木村修一大会会長の挨拶の後、令和4年度の優勝旗返還、京都府知事より来賓代表の励ましの言葉があり、普通科1・2年、研究科1・2年生の計15名が出場し、素框や板入れ畳の課題製作を競い合いました。女性の学院生も2名となり、昨年以上の熱気に包まれていました。

全日畳石河理事長も挨拶で「いつの日かグランプリをお待ちしています！」と学院生を激励しました。

午後からは同会館2Fの洋食まどい食堂に於きまして、全日畳の関西ブロック（細川会長）会議が開かれました。和歌山・兵庫・大阪・京都の理事長や役員・事務局が出席し、全日畳からは理事長をはじめ堀田技能推進委員長・吉金品質管理委員長・的場事業委員長も出席し、上半期の全日畳の事業報告等、そして意見交換を行いました。

2025年4月から半年間開催される大阪万博での和文化の発信について、石河理事長が「現在いくつかの打診がある」として、今後全日畳が何か行事・イベントに関わる事があれば、それは関西ブロックの皆さんの協力なしではできない、その節はどうか宜しくお願いしたいと話しました。

